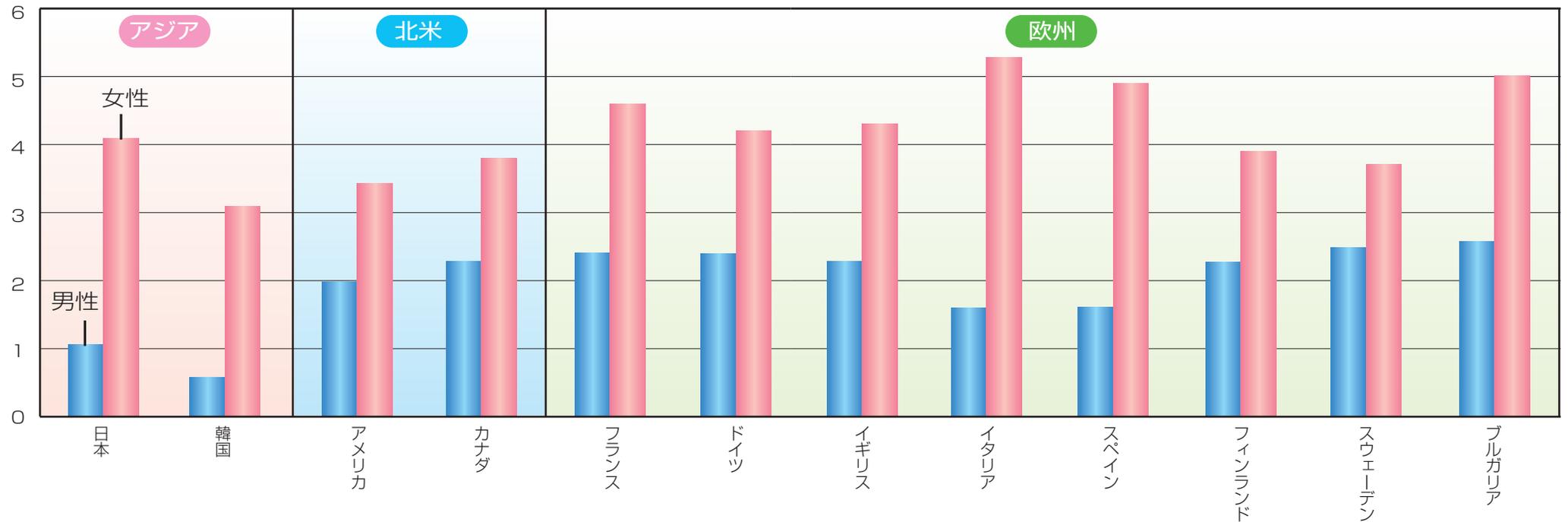


生活時間調査は多くの国で実施されています

生活時間に関する調査は、経済統計に関する調査では得られないさまざまな活動を網羅的に把握できることから、詳細な労働時間、家事やボランティア活動などの無償労働時間を把握する方法として、世界的に注目され、多くの国において実施されるようになりました。



(時間) 男女別にみた家事関連時間の各国比較



(注) ・「家事関連時間」とは、家事、育児、介護、買い物などをいう。
 ・各国の生活時間は、平成23年5月時点で入手可能なデータのうち最新の年次のものである。
 ・国によって定義等に相違があるため、比較には注意を要する。

男女別にみると、日本では男性の家事関連時間が他国に比べて短くなっています。

- ①日本 2006年, 10歳以上(調査票Bの結果から国際比較用に組み替え)
 - ②韓国 2009年, 10歳以上
 - ③アメリカ 2009年1月~12月, 15歳以上
 - ④カナダ 2005年1月~12月, 15歳以上
 - ⑤フランス 1998年2月~1999年2月
 - ⑥ドイツ 2001年4月~2002年3月
 - ⑦イギリス 2000年6月~2001年7月
 - ⑧イタリア 2002年4月~2003年3月
 - ⑨スペイン 2002年10月~2003年10月
 - ⑩フィンランド 1999年3月~2000年3月
 - ⑪スウェーデン 2000年10月~2001年10月
 - ⑫ブルガリア 2001年10月~2002年10月
- 出典: 2009 Time Use Survey
 出典: 2009 BLS News
 出典: 2005 General Social Survey
 出典: HETUS Harmonised European Time Use Survey (Website)
- ※⑤~⑫は20~74歳のデータである。